



これからの時代を生きる
真の“自律”人材育成プログラム
一次産業ワーケーション®
TUNAGU

令和6年11月25日

連携自治体：R5より和歌山県みなべ町／和歌山県すさみ町／福井県高浜町／石川県能登町
R6より富山県魚津市／三重県尾鷲市



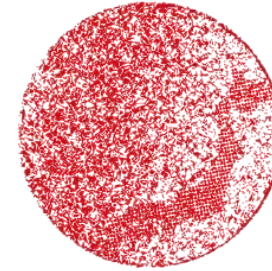
1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. 過去参加者の声
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. R6実地研修
8. おわりに



1. **一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは**
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. 過去参加者の声
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. R6実地研修
8. おわりに

ウェルビーイングで豊かな日本を。

PCW Japanは、私たち一人ひとりの暮らしが根づく「地域」に焦点を当て、地域と地域を繋ぎ、知恵・人材・経験を混ぜ合わせることで、ウェルビーイングで豊かな日本をつくってまいります。



PCW Japan

名称： 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会

(Promotion Council for Well-being in Japan)

事業内容：

- ・ウェルビーイングの啓蒙
- ・地域のウェルビーイング向上に資する事業
- ・ウェルビーイングに関する専門家による講演/コンサルティングなどのコーディネート

代表理事： 島田 由香

理事：

矢澤 祐史 (Giveness International 会長) 高橋 ゆき (株式会社ベアーズ 取締役副社長) 井上 高志 (株式会社LIFULL 代表取締役会長) 矢野 和男 (株式会社ハピネスプラネット 代表取締役CEO) 小林 正忠 (楽天グループ株式会社 常務執行役員 CWO) 前野 隆司 (慶應義塾大学大学院SDM研究科/武蔵野大学ウェルビーイング学部長) 南雲 岳彦 (一般社団法人スマートシティ・インスティテュート 代表理事) 小原 壮太郎 (一般社団法人 the Organic代表/環境省「つなげよう、支えよう森里川海」アンバサダー) 井本 喜久 (農ライフアーズ株式会社 代表取締役)





1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. **TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い**
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. 過去参加者の声
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. R6実地研修
8. おわりに



一次産業ワーケーション®を通じ、農山漁村に関わる人材を創出。
都会で働く人と地域をつなぎ、日本のウェルビーイングをあげる。

私たちのVISION

自然と人を
未来と日本を
情熱と行動を
つなぐ



一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 代表理事

島田由香

自分のエネルギーと時間を4つのことだけに使うと決めた2021年の7月から【真のワーケーション】を日本全体に広げることは私のミッションの大事な柱になりました。

ワーケーション (workation) はワーク (work) とバケーション (vacation) の造語ですが、多くの人がバケーションを遊び・リラックスすることだと捉えてしまっています。本当はもっと深い意味があり**“空にする・空になる (vacate)”** という意味の動詞の名詞形がvacationです。真のワーケーションとは、働く場所や体験を変えることで、いつもいっぱいになっている頭や心を空にし、自分とつながり、他人や世界とつながり、Purposeを見つけ直すことを意味します。

2022年6月に和歌山県みなべ町でスタートした**「梅収穫ワーケーション」**の気づきと学びから、TUNAGUプロジェクトが生まれました。梅収穫で得られる**『没入体験』と、『身体知（実際に体を使うことによって湧き起こる感情や感覚を味わって、考えて、言語化するプロセス）』**が、これからの時代に必須の要素であることを、人材育成に関わる身として深く感じています。本当の学びは体でしか得られないということを声を大にして伝えたいと思います。体と心を存分に使って、夢中になって、その瞬間の自分の微細な感情に気づけることは、日常では、都心にいてはなかなか得られるものではないから、TUNAGUプロジェクトは地域で展開し、非日常の15日間をお届けします。

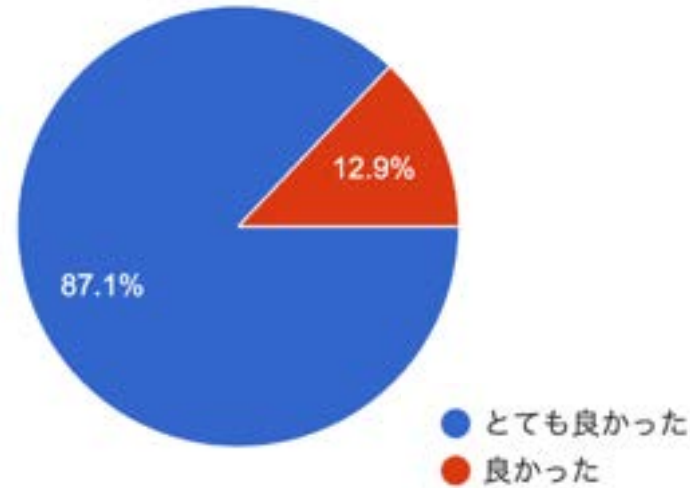
無意識に思い込んでいる日常の“働く”が、ワーケーションという一つの新しい働き方を通じて、ポジティブに変わる体験をそして、一次産業の作業に関わることで、自ら考えて行動する体験を、企業における**自律人材の育成**に役立てていただきたいと考えています。

きっかけとなった梅収穫ワークショップ



梅収穫ワークショップ参加者アンケート

100%良かった



7. 梅収穫ワークショップを0-100 (100: 大満足) の数字で表すとしたら何になりますか?
85件の回答



- ・ とにかく 満足感、達成感 で心が満たされた！
- ・ 自己肯定感の上昇 を感じられる体験でした！
- ・ 感謝の循環、様々な人との出会い、全てが自分の幸せに繋がった
- ・ 予想以上に楽しく、学びと共感が新たな気づきをもたらしてくれた。
- ・ 自然に囲まれた環境、農家さんや参加者との交流、無心の梅拾い、どれも日常から解放される心地よい時間 でした！
- ・ 梅の収穫を通して、農家さんから教えていただき、普段の食事を支えて下さってる方々に改めて感謝 を感じました。
- ・ 想像以上だった。身体知(体感)→論理知(学術的知見)の順番が明らかに腹落ち度が違う
- ・ 正直、ワークショップに懐疑的な考え方を持っていたが、ワークショップってあり得る！

一次産業ワーケーション®

(商標登録済)

WHY ?

「ワーケーション」は
日本の未来を前向きに変える**新しい働き方**の一つ。

TUNAGUの「一次産業」の現場には
ウェルビーイングに強く影響する**没入体験**ができるだけでなく
非日常の中でしか気づけない唯一無二の環境がある。

企業×地域が双方で
「真のワーケーション*」を促進することで、
関係者全員のウェルビーイングが向上することによる**経済性を含む確かな効果**



*真のワーケーションとは、ワークとバケーションの造語。先にワークが来るので仕事ができること、新しい仕事の仕方をさしますが、特にバケーションはVacate (空にする・空になる) の名詞形であり、ワーケーションする人が空になる体験ができることを意味します。自分を空にする・空になることで、自分の内側にある本当の声や熱意、本気に気づきやすくなり、なぜこの仕事をしているのか、なぜ自分が存在するのかといったパーパス (大いなる目的) とつながりやすくなります。パーパスを知っている人材は成果を出しやすくなるのがわかっており、本事業では、**都会から場所を変えて地域でワーケーションをする折に一次産業に関わることを“空になる体験”になると捉えており「一次産業ワーケーション」と命名**しています。

農・林・漁を自由に選択！
6つの地域でウェルビーイングが向上する全**15日間**の研修！



地域を大好きに
副業・兼業、キャリア形成、新規事業
ウェルビーイングな働き方、暮らし、生き方を

実施地域

漁業



林業



農業



漁業



初年度にも関わらず
計44名
の方が参加！

参加者属性

- 企業参加：
日本航空（株）、楽天グループ（株）、
パーソルホールディングス（株）
 - 男：女 = 21：23
 - 学生から会社役員まで多世代交流に
 - サラリーマン 56%
 - 都心部からの参加が過半数
- ※関東61.4% 関西15.9% 中部9.1% 福岡4.5% 他



事前研修 ⇒ 実地研修 ⇒ 事後研修

7月 事前研修（オンライン） 3時間+2時間+2時間



8月～2月 実地研修（現地）

研修生一人当たり ①3泊4日+②3泊4日+③6泊7日（計15日間）

【研修地域】

和歌山県みなべ町/和歌山県すさみ町/石川県能登町

福井県高浜町/富山県魚津市/三重県尾鷲市

例えば

- ①3泊4日 魚津市
- ②3泊4日 すさみ町
- ③6泊7日 尾鷲市

①②③は違う地域を選べます。

※1年間で、①②③の計15日間の
実地研修を受けることが条件で
す。

2月 事後研修（オンライン） 3時間+2時間+2時間/ 地域報告会（6地域）



1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. **TUNAGUでしか得られない体験について**
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. 過去参加者の声
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. R6実地研修
8. おわりに

自己変容 × 気づき × つながり



真の自律した人材へ

地域の行政や住民が全面協力なのは、PCWだから



非日常な場所で研修を実施することで
自然の中で何かしらの作業に没入することで
自律が加速するということは
代表の島田がユニリーバで人事担当役員をしていた時の実体験から
確信があった。

いつもの毎日とは違う時間を過ごす
これまでしたことのない体験をする
体を使い五感で得た感覚・感情・感性を内省すること（=身体知）が
自己との対話を促す

実際に現地に何度も赴いて
本音の関わりを重ねてきた**地域との本質的なつながり**を
これまで長年大切に育みあためてきた島田が代表を務めるPCW
（一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会）
だからこそ実施できる**唯一無二**のプログラム内容

地域貢献活動としてもプラスになり、
企業として本質的で持続的なつながりをつくるのが
TUNAGUだから実現可能です。

ポジティブ感情をより感じる人の方がウェルビーイング

研修後はポジティブが増加し、ネガティブ感情が低下

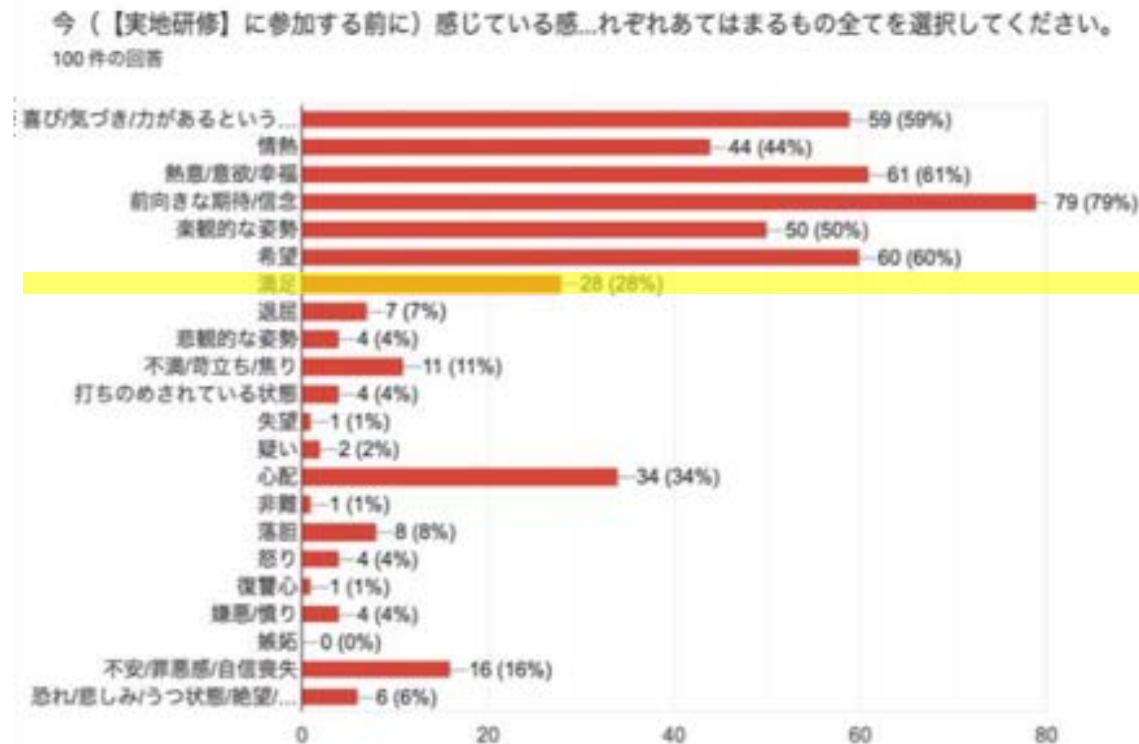
22段階の感情のスケール



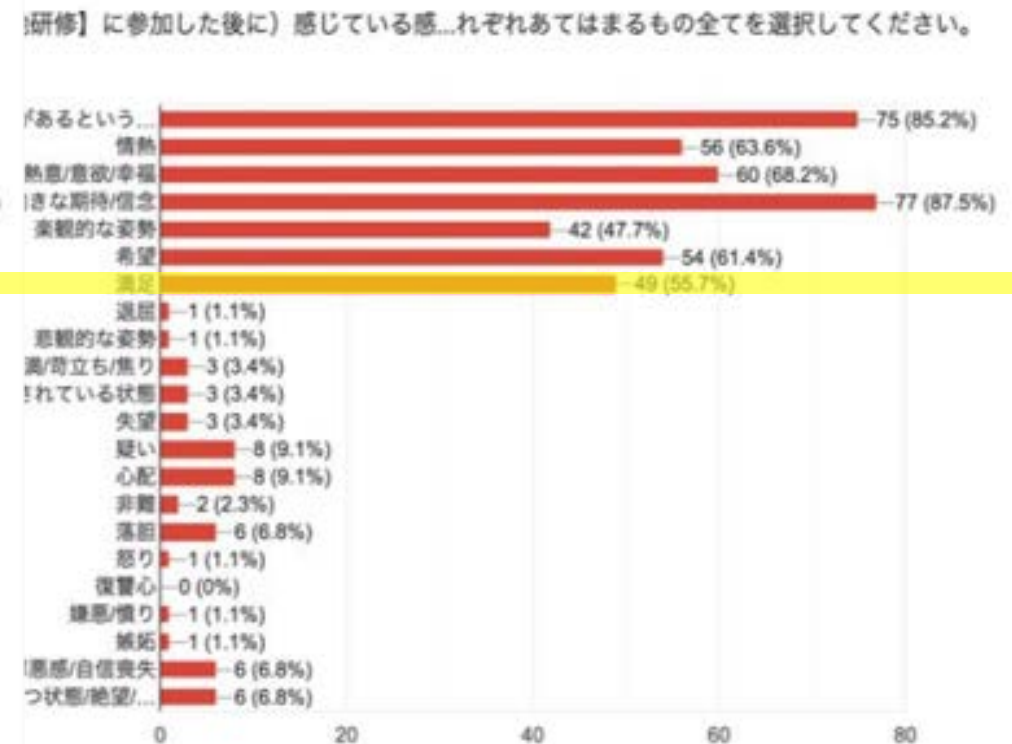
**TUNAGUプロジェクトに参加することによって
前向きな感情の変化が起きる**

研修後はポジティブ感情が増加し、ネガティブ感情が低下

【実地研修“前”】



【実地研修“後”】



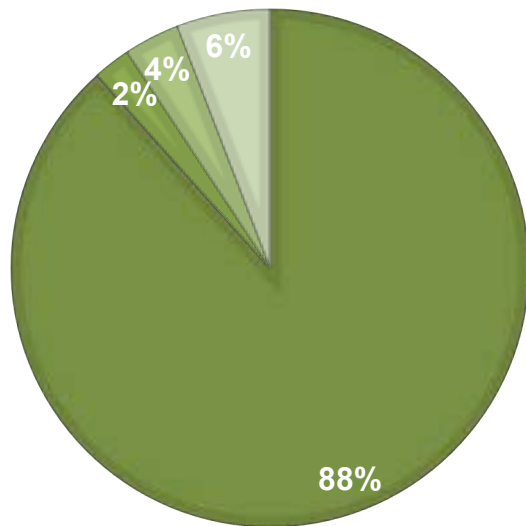
- ・「心配」の感情が低下（**34⇒8**）
- ・「不安/罪悪感/自信喪失」の感情が低下（**16⇒6**）
- ・「不満/苛立ち/焦り」の感情が低下（**11⇒3**）



1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. **企業研修として取り入れるメリット**
5. 過去参加者の声
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. R6実地研修
8. おわりに

参加者のwell-beingが高まる

■ はい ■ いいえ ■ どちらでもない ■ わからない



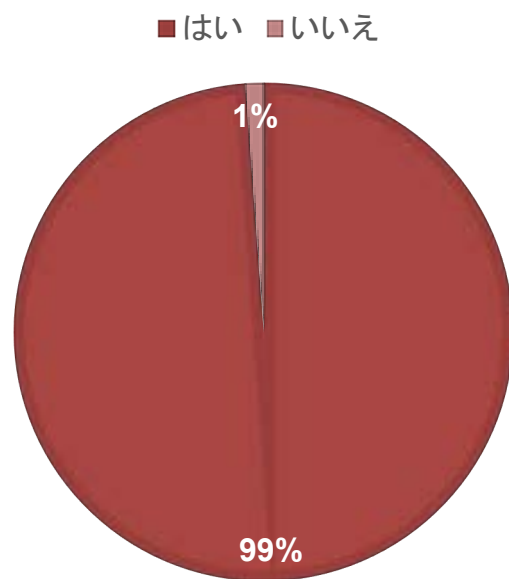
実地研修に参加したことによって、well-beingが高まりましたか？

TUNAGUが定義する**自律人材**とは
仕事も人生も自らの旋律を奏でられる人のこと。
つまり自分の音色（個性・強み・可能性）を出しながら
自らの夢やゴールの実現に向けて行動できる人材。

その育成には対象となる個人のウェルビーイングの向上が
重要なポイントになります。
特に日常の仕事ではなかなか難しい**“没入体験”**を
脳が経験することがカギとなります。

TUNAGUプロジェクトに組み込まれている
各地域の**一次産業への貢献活動**が**“没入体験”**の場となり
参加者のウェルビーイングの
確かな向上を現実のものとしています。

地域の産業・人・課題との深いつながりが SDGsや社会貢献活動・新規ビジネスの現実化を加速



実地研修に参加したことによって、参加地域に対して、
「関わりたい」気持ちが高まりましたか？（事後アンケートより）

SDGsの実践やCSR・CSVといった社会貢献活動に取り組む企業は数多く存在しますが
実は本当に取り組む必要のあるテーマや
地域の真の課題がわからないという声もよく耳にします。

TUNAGUプロジェクトでは地域に15日間滞在し
その地域の産業と人とくらしと深くつながることで
自社の強みを活かした地域との関わりを見出しやすく
実例としてビジネスアイディアの現実化が起きています。



各地域で行った貢献作業プログラムが 生産者・事業者幅広く貢献



【石川県能登町】

宿泊先だったオーナー*が保有する山の竹の伐採に研修生が従事したことで、労働力として貢献したのみならず、研修生を迎え入れたこと、研修生と交流したこと自体が刺激となり、新しい取り組みにチャレンジした

考え方が前向きになったとの感想をいただいた。

(*土とDISCO 田村夫妻：現在は、災害支援者、自治体関係者、ボランティア団体、報道関係者専用の宿を再開)

【和歌山県すさみ町】

受け入れ漁師さんが、研修生を受け入れ交流したことにより、周囲から明るくなった、性格が変わった、前向きになったとの声がるほどの変容が見られている

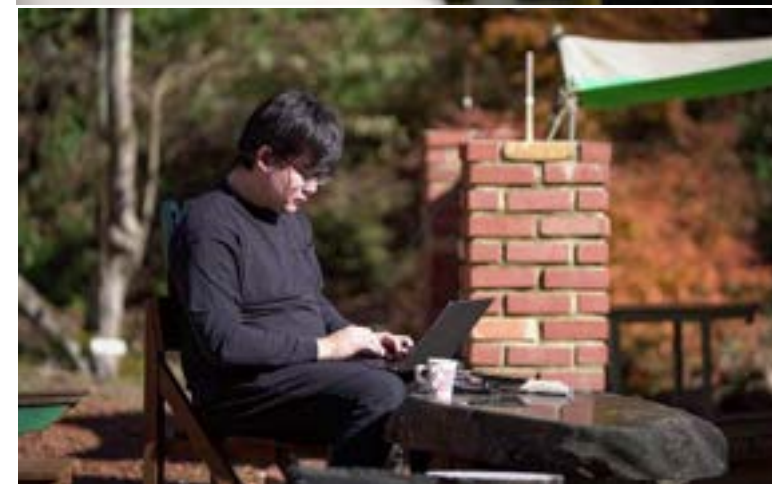
研修中フリータイムもあり、リモートでの業務も可能

各地域での研修期間中
基本となる貢献活動は午前中のみ。

午後は長くても研修は2時間半程度で
その他の時間は基本的にフリータイムです。

通常業務を止められない方でも
研修とのバランスを見ながら
Zoomでの会議出席や
リモートでのPC作業に対応できる環境です。

ワーケーションを活用してプログラムに参加できるので
休む必要がありません。



研修風景













1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. **過去参加者の声**
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. R6実地研修
8. おわりに

企業の声：日本航空株式会社（参加6名）

【属性】

性別 男性：4名 女性2名

年齢 20歳代：2名 30歳代：3名 50歳代：1名

【満足度 0-100】 **120**点

参加したメンバーに**顕著な自己変革**がみられたため

【どのような変化を感じたか】

自分に**自信**を持てるようになった様子がかがえたこと、
地域との共創の重要性を他者に**自分の言葉で説明できる**
ようになり、共感を得られていること。

【参加した社員の方にとって役に立ったと思う項目】

自己成長、チームビルディングの方法

理由) **リーダーシップ**がでてきたので



企業の声：楽天グループ株式会社（参加1名）

【属性】

性別 男性 年齢 40歳代
地方創生関連部署

【満足度 0-100】 **85**点

ここでいただいたご縁を今後さらに繋いでいってほしいという意味で、あえて余白（可能性）を残しました。ただプログラム自体は**非常に満足度が高い**です。

【どのような変化を感じたか】

現地でいただいたご縁を積極的に仕事に繋ごうとしたり、社内の人との連携に**発展**させようとしている点。

地域に対する**熱量が高く**なり、人脈も広がってさらに頼もしくなっています。

【参加した社員の方にとって役に立ったと思う項目】

- ・ **自己成長**、コミュニケーションスキルの向上

理由) 元々そこまで地域とのリレーションはなかったなかで、積極的に現地と関わり、地域のことを理解し業務に活かそうとしている。





遠藤 美葵 さん

パーソルホールディングス株式会社

【プロフィール】

新卒でパーソルテンプスタッフに入社後、自社内公募制度キャリアチャレンジを利用してパーソルホールディングスに転籍異動。

現在はグループビジョン

「はたらいて、笑おう。」の自社内浸透をミッションに社内広報を担当。

“行かなきゃ”が“帰りたくない”に

会社からの推薦で参加したTUNAGUプロジェクトは、自分が時間の融通がきく立場だから選ばれたのだと思っていました。しかし、**回数を重ねる毎に格段に増えていく気づきの機会の多さと、吸収できることの大きさから、**私のような若手社員だけでなく、むしろ管理職や経営者にも参加いただきたい内容だと人事には伝えました。

キャリア観が大きく変わり、型にはまらない価値観の幅の広がりがあるTUNAGU。

プロジェクトはまさに**真のリーダーシップ研修**だと思います。一緒に参加している他のメンバーが、自分の生き方・働き方を大切にしていることを痛感し、この**みんなとの出会いが自分の在り方を大きく変えてくれました。**TUNAGUプロジェクトにも、仕事に対しても、「無理してでも頑張っていかないと」って思っていたことに気づいて、それを手放すことができたことで、毎日がものすごく楽になっています。

TUNAGUプロジェクトを一言で表すなら『新たなつながり』かな。**出会ってなかった自分に出会う**って感じです。全15日間の最後で、プライベートも含めてずっと感じていたもやもやが、しっくり晴れた瞬間のウェルビーイングな体感は一生涯忘れないと思います。



波多腰 フトシ さん

【プロフィール】

長野県安曇野市穂高出身、福岡県福岡市/北九州市/遠賀郡芦屋町在住、株式会社不動産ギャラリー執行役員、一般社団法人Catsジャパン理事、株式会社キョクレイ商事オリジナルソフトクリームアドバイザー、一般社団法人Ashific理事、芦屋町芦屋港活性化推進室、みなとを活かした空間形成プロジェクトや道の駅を活用した多様なイベント企画と実施、地域活性化プロジェクトの実施ならびに地域活性化に準ずるイベント等を企画・運営を行う。

自分の知らない衣食住を体験するってこんなにすごいこと！

「参加してよかった」が正直な感想。

どうして？と聞かれたら、**つながりができたから**と声を大にして言いたい。トータル15日間の現地研修を「長いな」と思う参加者もいたかもしれないけれど、自分は思っていた通り、**研修が終わった後も物足りなさを感じています**。もっともっと行きたかった。だからこれからももっともっと行きます。

TUNAGUプロジェクトが特別なのは、**地域とそこにいる人と深いつながりをつくるきっかけを、余すところなく提供してくれるところ**。普通の観光客だったら出会えない人、味わえないこと、ただの旅行なら表面をなぞって終わってしまうことに、ずしっと深く入っていったことが本当に大きい。

自分が3回の研修で同じ地域（高浜町）を選んだのは、高浜町から学んで自分の活動している地域に持って帰ろう、と思ったから。**いろんな刺激や気づきの幅を広げたかったら3地域違うところを選んだらいいし、自分のように学びたい、知りたい、やりたいことがあるならそこに15日間どっぷり入ったらいいと思う**。これからもTUNAGUプロジェクトとは深くつながり続けて、もう始まっている研修内で出たアイデアの実装をガンガン進めていきます！



米永 憲司 さん

【プロフィール】

プロフィール：いつでも今が一番楽しいストレングスコーチ。日本、アメリカ、ヨーロッパの食品会社でのビジネス経験を活かして、強みにフォーカスした人材育成に取り組んでいます。

得たものは500%期待を上回っていた！

関わる全員の熱意、無性の愛、地域の皆さんに受け入れてもらえた感覚がとにかく嬉しくて楽しくて、TUNAGUプロジェクト1期生であることを周囲に自慢まくっています。

TUNAGUプロジェクトは、自分が最後に自分の人生を振り返る時、“あれ楽しかったな”って思い出す3つのことの一つ。あれだけの濃さで、あのメンバーで、地域の皆さんと自分のパッションが共感共鳴した15日間のインパクトは走馬灯に確実に出てくるシーンだと思う。

今のタイミングで、TUNAGUプロジェクトに参加したことで自己肯定感が上がり、自分が貢献できていることを感じられたことがとても大きかった。すでに具体的に動き出している研修内で出たプロジェクトアイデアの実現には、今後も積極的に関わっていきます。高浜町では商品開発が進んでいるし、民宿をやってみるアイデアは友達を連れて行って具体化するつもりです。

これからもTUNAGUプロジェクトとつながり続けて、みんなと一緒にいろんなことをやっていきたい。



藤沢 由美子 さん

【プロフィール】

コーチ（PCC）、ポイントオブユース認定マスター、精神保健福祉士
よりよい人生、社会をめざしてコーチングや対話、ファシリテーションの活動をしています。大学卒業後約20年銀行勤務後、子育てをしながら大学で福祉・心理を学び直しました
メンタルヘルス・ソーシャルワーカーとして地域や施設で働き、生きること、働くことの意味を考え直し、2014年にコーチとして独立。コロナ禍オンライン漬けになった生活、心身のバランスを取り戻そうと畑を借りたことから農業（第一次産業）に目覚め、梅収穫ワークショップ、TUNAGUに参加、現在みなべ町、能登町とつながっています。

地域とつながると言うことは“地域の人に会う”ということ

目的は「**地域で仕事をするということ**」を掴みたいから参加しました。

目的自体はずーっとそのまま、実地研修に参加する度に、解像度があがって広がっていった感じで、目的は達成できました。

最もwell-beingがあがったと感じたのは、能登宿が自炊が出来るところで、「みんなでやった**自炊が、フレキシブルで良かった**。みなべの最後の37baseの最終日も達成感があって良かった。みなべの最終日の前の日の**運営メンバーへの感謝パーティ**も仕事があり、**2階でみんなの声や歌を聞いていて、とっってもwell-beingがあがった**。

今の時点では、みなべ町。梅ワーがあることで関係人口は作りやすいと思う。

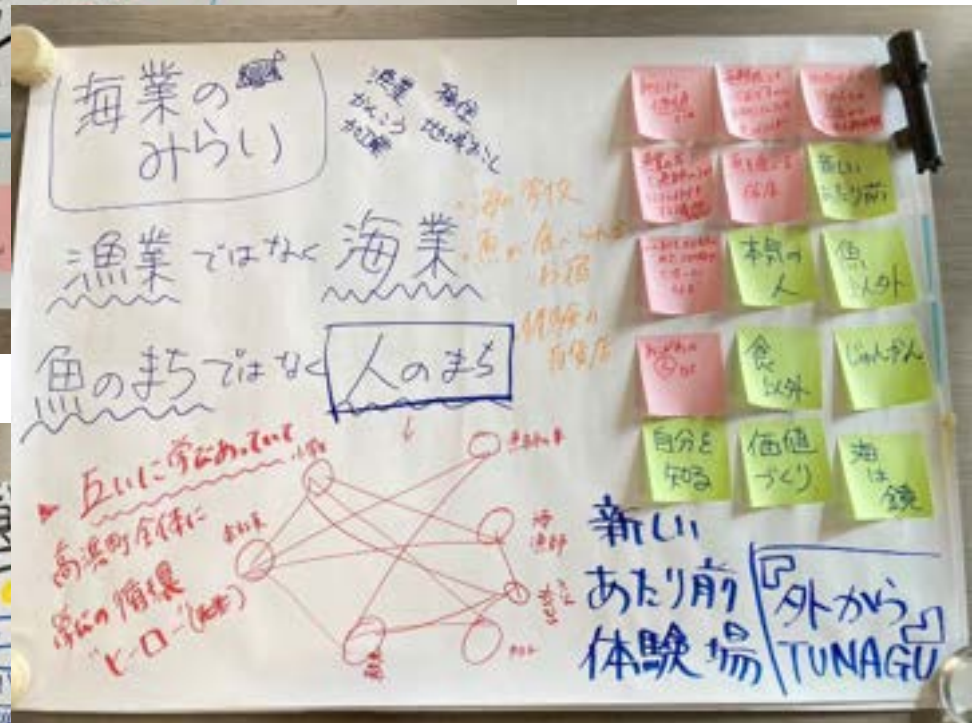
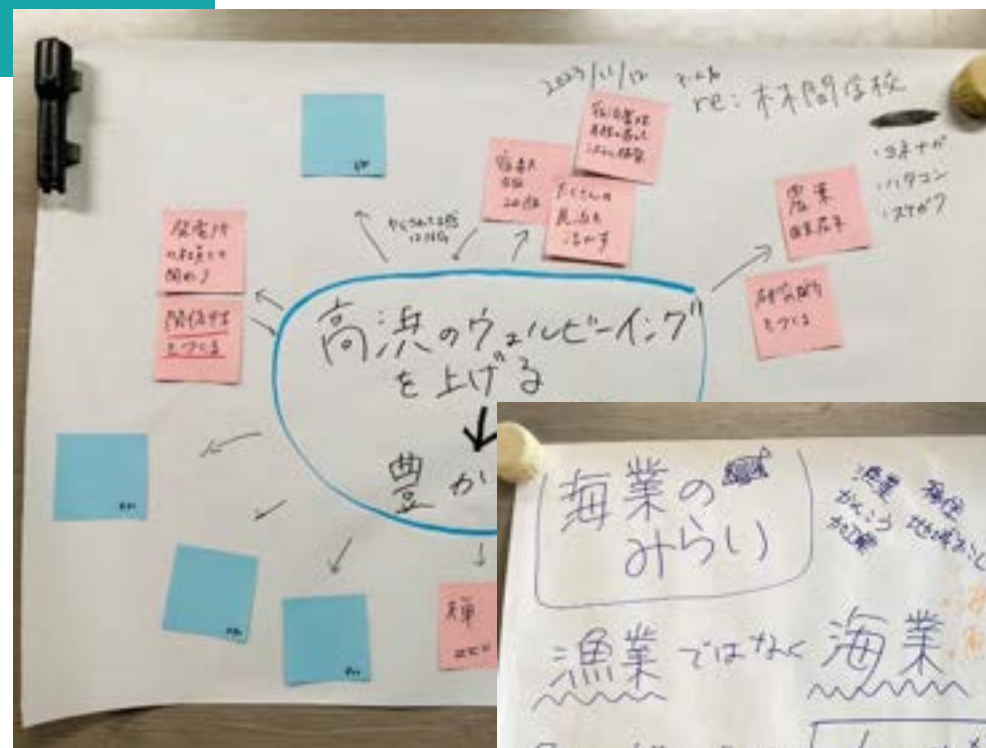
TUNAGUプロジェクトの最大の魅力は、プログラムとして、**個人ではやりきれない地域とのより深い関係を築けるプログラム**だと思います。都会育ちの子ってリアルコミュニケーションが得意ではないので、**自然とコミュニケーションが築けるTUNAGUプロジェクト**はすごいと思います。**15日間6泊7日は素がでるところも魅力です**。



1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. 過去参加者の声
6. **TUNAGUから生まれたアイデア・アクション**
7. R6実地研修
8. おわりに

4地域の実地研修で 63のアイデアが 生まれた

R6はその実装も
テーマのひとつ



「よそから企画チーム」を結成。

一期生・TUNAGUコーディネーターが

毎月現地訪問し、事業者のヒアリング調査をしつつ、企画を練っている。



4つの関係者が抱えるジレンマ



※今後、さらに当事者から話を聞く必要あり! (一旦)

--低未利用魚の活用と魚価UP--



安定した受給で加工製造・販売による地域を巻き込んだブランド構築

安定した受給で加工製造・販売による地域を巻き込んだブランド構築



4つのテーマを軸としたプロジェクト推進



一期生・TUNAGUコーディネーターを伴奏支援者とした「地域商社3.0」の種火おこし事業が、

中小企業庁の実証事業に採択

Vision 「世界のサステナブルタウン高浜」ー 持続可能な地域経営を目指す



株式会社まちから
代表取締役
名里裕介

水産加工場としてスタート。今年からセリに参加し、魚の流通・加工販売を手掛けています。また「明日あったらいいな」を子どもたちも交え実践する高濱明日研究所の活動も行い、次世代一つひとつが、小さな商社のような海業＝生業の町を目指します。

会社概要

会社名	株式会社まちから
本社所在地	福井県大飯郡高浜町三明1-12
設立	2019年6月
事業内容	水産加工物を中心とした商品企画、開発、販売、マーケティング 各種企画、運営

主要な連携者

- コンソーシアムメンバー
 - 株式会社うみから (漁協・仲買でつくる魚と旅するシーフードマーケット)
 - en株式会社 (一棟貸リゾートを展開する若手起業家)
 - 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会 (一次産業ワーケーション「TUNAGUプロジェクト」を展開)
- その他
 - 漁師・漁協・観光協会・地銀など

株式会社まちからウェブサイト▶ <https://shop.umikara.co.jp/>

実証地域の特徴・課題

水産業を担う人材の高齢化や日本人の魚食離れ等の現状があり、水産業に関わる若手人材が不足している。また、民宿の衰退等も踏まえ、域内外とのつながりやより密な関係人口が創出され、新たなビジネスモデルとして見える化されていない。

地域課題解決事業の概要

水産業の6次産業化を促進することで、地域の関わりしるを広げ、新たな地域ネットワークを多数構築し、海業モデル地区として経営基盤や機運づくりの検討を行う。また、観光との融合に向けて、ワーク環境の整備や地域資源を活用した新しい民宿の仕組・検討を行い、域内消費促進、関係人口の長期滞在を目指す。加えて、一次産業ワーケーション等を通じて、豊かな人生にライフシフトするための条件を地域から提案し、域内外の人材共創による循環モデルを構築する。



社会的インパクト

持続可能な水産業、サステナブルツーリズムの定着、町民・関係人口双方のウェルビーイング向上、多様なステークホルダーとの連携体制構築

目指す地域の姿

高浜町の地域資源である海の6次産業化を軸として、域内経済を循環させるとともに、観光業・人材育成等の多様なステークホルダーと連携できる仕組み（地域商社の新たなカネ・株主人口等）が構築された持続可能な地域。



TUNAGUプロジェクト一期生の宮崎智子(もこ)さんが、 フォトライターとして活躍

2つの記事が、高浜町の公式サイトに掲載されました。



NEW



海水浴をもちっと楽しもう！「はく」以外の「フ」の楽しみもご紹介。～高浜町の夏2024～



いつものお笑い場から、個性がやわしく、「アツカル」な暮らしを、動画に上げていきたい。



「美味しい」を届けたい喜びを、次世代へ、食育の講師と向き合う料理人。



自由5essの小ねなノッムブックから始まった、大浜への大冒険。



また、ここに集ってきたい、はじめての商売で出会った、素敵な人と町見聞。



おへの町を仕事とサレレンジ、地域も盛んでいて、人や文化をつくりだす。

ホーム 記事 移住定住 ふるさと納税 高浜町 マガジン 月別

追加された記事



ピン!ト note - わざわざ若狭高浜へつながりと感謝の循環～
福井県高浜町の関係人口創出、二地域居住、多様なしごとづくり、サテライトオフィス誘致、若者スタートアッ...

福井県高浜町「ピン!ト」
1件目



庭主さんの「好き」があふれる素敵なお庭～オープンガーデンinた...
つたて第6期生記事「オープンガーデン」もあつたよ！ 暮らしのあふれるお庭がなまはらで美しい庭園や庭...



第5回ライフスタイルデザイン会議+観光会議が開催されました！
高浜町では、2024年3月6日（水）18:30～21:35 高浜町公民館多目的ホール 講師：辻澤也洋観光経...



一次産業ワーケーションで「つなぐ」。高浜町の六次産業と海業の...
高浜町では、2024年6月より、【一泊】日本ワナルビーイング産直協議会と、北吹山町みなべ町・イナカ町、二...



TUNAGUプロジェクト一期生の
米永憲司さんが、仲間と
サイクルツアー
を企画し、
動画でPR



YouTube



和歌山県みなべ町の例:移住しちゃいました！

みなべ町に関わりたくて

「家族で移住」をしました。



みなべの、みらいを、みんなで！
**みなべ町SDGs未来都市
選定記念講演会**

「SDGs未来都市」モデル事業に選ばれたみなべ町の町づくりについて考える
最初の一歩です。町の歴史・自然、ハイテク、幸福度について学びます。

- とき：2024 10/30 (水)
午後1時30分～4時30分
- ところ：南部高等学校 体育館
- 対象：一般 / 企業 / 生徒
- 駐車場：南部小学校運動場

講演1 「地域振興「ゼロカーボン」実現す
みながの幸せな暮らしをつくる」

講演2 「町の歴史・自然について
観光と今の産業・観光」

講演3 「ハイテク産業と未来都市
みながの幸せな暮らしをつくる」

講師 高田 昌彦氏
講師 宇都宮 洋子氏
講師 佐田 祐一氏



石川県能登町の例:震災を機に、能登へ通う日々!

能登町に関わりたくて

「復旧・復興」にどっぷり。

あばれ祭

私たちが支え続ける神事を今年もやっぞ

応援購入総額 **8,480,000円**
目標金額 7,780,000円

108%

サポーター 426人

残り 終了

Success!

終了しました

350年続く能登町の灯を地震で消さない! おーいわっちゃん、今年もやっぞ、あばれ祭!





1. 一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会とは
2. TUNAGUプロジェクトとは／発起人の思い
3. TUNAGUでしか得られない体験について
4. 企業研修として取り入れるメリット
5. 過去参加者の声
6. TUNAGUから生まれたアイデア・アクション
7. **R6実地研修**
8. おわりに

4+2地域で、合計15日間 “自律”人材 を育成するウェルビーイング研修

【研修地域】



和歌山県みなべ町
日本一の梅の産地

#梅収穫ワークショップ #世界農業遺産
#南高梅 #備長炭 #日本ミツバチ



和歌山県すさみ町
海と共に生きる漁師町

#ウツボ漁ワークショップ #イカ漁
#ケンケン漁 #シイラ #低未利用魚



石川県能登町
木こりと守る里山里海

#木こりワークショップ #世界農業遺産
#木こり #林業 #里山里海



福井県高浜町
6次産業化と水産業の
関わりしろ

#兼業漁師 #海業 #6次産業 #定置網漁
#ウェルビーイング広場 #薬草 #青菜山



魚津の水循環を
未来へ繋ぐ

富山県
魚津市

三重県
尾鷲市



魚津サステナブルシティ
一次産業における
新たな環境価値の創出

R6も始まっています。







公式ホームページ



TUNAGUプロジェクト
公式ホームページ

農山漁村 関わり人口創出事業
TUNAGUプロジェクト

公式note



説明会・研修詳細
参加者の声

R5年度の様子（写真・動画）など
新着情報を随時発信！

公式LINE



説明会・研修詳細など
新着情報を随時発信！

PCW Japan：一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会

TUNAGUプロジェクト運営チーム

E-mail chiiki@pcwjapan.com



公式Instagram



Thank You!

仕事もプライベートも人生も。
自分が運転席に座って、
行きたいところにワクワクしながらハンドルを切る。
その確かなきっかけになるのが
「TUNAGUプロジェクト」です！